

多機能の携帯電話端末「スマートフォン」がヒットしている。人気を引く張るのは米アップル社の「iPhone（アイフォン）」。

スマートフォンとは、

通話やメールの基本機能に加え、パソコン用のメールやホームページの閲覧、ウェブ、表計算ソフトや音楽・動画閲覧などができる携帯電話端末のこと。10年前の机上型パソコンを上回る性能を持つとされる。

国内メーカーの携帯端末はこれまで、テレビのワンセグ受信や電子マネー内蔵など独自の進化を遂げたが、海外には普及しなかった。

人気のスマートフォン

に、国内で独占販売するソフトバンクモバイルは好業績を挙げる。普及に合わせて、兵庫県内でも企業が関連ビジネスを手掛けたり、医療、教育の現場で活用したりするなどの動きが出ている。

(社会部・直江 純)

医療に教育

広がる活用法



逆にアップル社は2008年からiPhoneで日本市場に参入。最新型のiPhone4は予約が必要ほどの人気が続く。さらに、今年6月発売のiPadは9・7インチの液晶画面が電子書籍、電子新聞に適している話題になった。作家の京極夏彦氏が講談社から電子書籍を発売。神戸

新聞社も「デイリースポーツ電子版」をiPadやiPhone向けに有料配信する。一方、NTTドコモやKDDIも米グーグル社の基本ソフト「アンドロイド」を採用したスマートフォンを発売。神戸

◆ 兵庫県内でも、フームを追い風に、企業のビジネスチャンスが生まれている。

出先でiPadなどによる高速通信ができる「WiMAX」の端末を開発。家

神戶市中央区のウエディングドレス店「ノバレ

教授は「iPadの発売以来、製造が追いつかない人気。まだまだ需要はあるはず」と自信を見せる。

神戶市中央区のウエディングドレス店「ノバレ」で、衣装

教授は「iPadの発売以来、製造が追いつかない人気。まだまだ需要はあるはず」と自信を見せる。

関連ビジネスも続々登場

画像などを確認するため、iPadを手術室に持ち込んだ。医学生の指導にも使っている。



を運営する新田新婦にiPadで動画を見せている。「あらゆる角度からドレスの美しさをライブで見られる。写真ではこうはいかない」と広報担当も使うという。

同女子大の西垣内泰介教授は「iPhoneで、海外発のニュース動画を簡単に閲覧でき、現地の英語に触れることができ、語学力に加え、IT(情報技術)に強いことは、就職活動にも有利なはずだ」と話す。